

政策体系	基本目標名	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	施策主管課長	健康増進課 川崎 光子
	政策名	1	健康で安心して暮らせるまちづくり		
	施策名	1	心と体の健康づくりの推進		
施策関係課	市民生活課、クリーン推進課、医療保険課、いきいき高齢課、農政課、学校教育課				

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	H30	R1	R2	成果指標設定の考え方	
	①市民 ②市民(国民健康保険加入者)(40歳～74歳)	① 佐野市の人口	人	119,348	118,450						
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか ①心身ともに健康でいきいきと生活できるようにする。 ②特定健康診査受診率の向上	成果指標(意図の達成度を表す指標)				区分	単位	H30	R1	R2	R3
		① 健康づくりに取り組んでいる市民の割合	目標実績	%	75.0	75.5	76.0	76.5			
		② 特定健康診査(国保40歳以上)受診率	目標実績	%	30.0	32.0	34.0	36.0			
		③	目標実績								
		④	目標実績								
		⑤	目標実績								
		⑤	目標実績								
成果指標の取得方法											
① 市政に関するアンケート調査 ② 健康増進課資料 ③ ④ ⑤											

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	
健康づくりの推進	①市民	健康に関する知識を深め、健康づくりに取り組んでもらう。	① 健康教室等参加者数(延人数)	目標実績	人	3,850	3,860	3,870	3,880	健診(検診)の受診率向上	①市民 ②市民(40歳～74歳)	多くの市民に健診(検診)を受けてもらう。	① 特定健康診査(国保40歳以上)受診率	目標実績	%	30.0	32.0	34.0	36.0	
			② 健康サポートさの活動における参加者数	目標実績	人	4,000	4,100	4,200	4,300				② がん検診受診率	目標実績	%	24.5	27.0	28.0	30.0	
			③ 高齢者予防接種接種者数	目標実績	人	22,000	23,000	24,000	25,000				③	目標実績						
			①	目標実績									①	目標実績						
			②	目標実績									②	目標実績						
			③	目標実績									③	目標実績						

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

令和元年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況	
施策	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命と平均寿命の延伸を図るため、平成30年度に中間見直しを行った「さの健康21プラン」を周知するとともに、各種取り組みを推進する。 「健診スタートブック」や広報紙、イベント等での受診勧奨により受診率向上を図り、健診(検診)結果を活用した市民の自発的な健康づくりへの意識を高める。 新型インフルエンザへの対策を推進する。 熱中症の予防と応急対策に関する知識の普及など、施策横断的な熱中症対策に取り組む。 	取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成
		成果指標	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成
基本事業	・平均寿命の延伸のため、健康づくりに関する意識啓発を、様々な機会を通じて行う。 ・広報等により中間見直しを行った「さの健康21プラン」の普及啓発を行う共に、「健康マイレージ事業」を実施し、健康づくりへの動機づけを行う。 ・地域で健康づくり活動を実践している「健康サポートさの」の活動や人材育成に対し支援を行う。	取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 ・平均寿命の延伸のため、各種事業を開催し、健康づくりに関する意識啓発を行った。 ・広報等により中間見直しを行った「さの健康21プラン」の普及啓発を行った。また「健康マイレージ事業」を企画し、295人の参加者を得た。 ・地域で健康づくり活動を実践できるよう、「健康サポートさの」への支援を行った。
		成果指標	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 【成果指標達成状況】 ・健康教室等参加者は目標3,860人に対し、実績4,641人と目標を達成できた。 ・令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症のため事業実施を制限したこともあり、健康サポートさのの活動における参加者は、目標4,100人に対して実績2,624人と達成できなかった。 ・高齢者予防接種者数は、予防接種の勧奨を行ったが、目標23,000人に対して実績20,660人と達成できなかった。 インフルエンザ H30:49.1%→R1:51.2% 肺炎球菌 H30:37.1%→R1:24.9%

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> がん等の早期発見、早期治療により社会復帰ができれば、将来の社会保障費の軽減につながるから国では、すべての自治体が特定健診、がん検診の受診率向上を図ることに対し、保険者インセンティブを付与するとしている。 議会からは、人口減少、高齢化による社会保障費の増加に対応するためには、健康増進と介護予防による医療・介護費用の削減が効果的であるため、健康マイレージ事業等に取り組むよう要望されている。 平成27年市区町村別生命表によりと本市の平均寿命が男女とも県内最下位であり、議会ですらその対応が求められた。 人命に関わるような気温の上昇のため、熱中症予防対策が急務となった。 令和元年12月中国において新型コロナウイルス感染症が発生し、国内においても令和2年1月15日初の感染者が確認された。令和2年4月7日、1都6県の緊急事態宣言が出され4月16日には全国を対象に緊急事態宣言が発令された。(全国解除:5月25日) 	市民	事業所	行政
		<ul style="list-style-type: none"> 「自分の健康は自分で守る」という意識を持つ。 1年に一度特定健診を受診する。 健康教室や介護予防教室に参加する。 ウォーキングを行う。 新型コロナウイルス感染症への予防対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所は従業員の健康管理に努め、定期的な健康診査の受診を促す。 メンタルヘルスの職場研修を実施する。 事業所における感染予防対策の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに関する情報を提供し、市民の健康意識の向上を図る。 健康マイレージ事業を推進し、健診の受診率向上を図る。 新型インフルエンザ等の発生時には、業務継続計画に基づき、速やかな対応を行う。 新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、感染防止対策を行う。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 「さの健康21プラン」の見直しを行い、健康に関する生活習慣の改善を図るため、広報へ健康情報の掲載、健康教室、健康相談、健康サポートさのによる地域活動等とおとし、健康づくりに関する情報の提供を行ったが、健康づくりに取り組んでいる市民の割合は72.0%と目標を下回った。 健康状態を把握する特定健康診査や各種がん検診受診率は低率であるため、自己負担額の見直しや機会を捉えての受診勧奨、医師会等関係機関との連携により、各種健診の受診率向上対策を行った。また、受診率向上のため、各個人へ受診券の送付、更に、未受診者へ受診勧奨通知発送を行い、前年度より受診者が増えているが、目標とした受診率を達成できなかった。(延受診者数 H30:39,797人→R1:39,876人) 健康への関心を持ち、健診を受ける市民を増やすため、健康無関心層へのアプローチとして健康マイレージ事業を行った。(参加者:295人) 熱中症対策について、危機管理課、消防署等関係各課と連絡調整を行い対応した。 新型コロナ感染症への対応のため、新型コロナウイルス対策検討会、新型コロナウイルス感染症対策本部を開催し、市の対応方針を決定、拡大防止のための対策を行った。 施策コストを見ると平成30年度 5億9910万円に対し、令和元年度は6億389万円と、479万円の増となった。その主な要因は、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生の男性を対象とした「風しん予防接種等事業」が開始となったためである。 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和2年度で解決する課題】 特になし 【令和3年度以降にも引き継がれる課題】 ①健康づくりに関する意識の高揚を図る。 ②各種健診の受診率向上対策を行う。 ③新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を行う。 【令和3年度重点課題】 ④健康寿命延伸のための対策を推進する。 ⑤感染症の拡大防止と事前対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①健康づくりに関する関心が高まるため、広報さのへの情報掲載、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた各種健康教室・健康相談を実施する。 ②各種健診の受診率向上のため、個別通知の内容の検討や関係課と連携を図り未受診者対策を実施する。(特に保険者努力支援制度に影響する特定健診の受診率向上を目指す) ③新型コロナウイルス感染症の感染状況により対策本部会議を開催する。また医療体制の確保を行う。 ④各種健診を受診し、健康状況に合わせた健康づくりに取り組めるよう集団・個別による保健指導を行う。 ⑤新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症を含めた感染症拡大予防のための対応や衛生機材の備蓄を行う。